

## 企画展 山下清一天才画家の旅景色

会 期 2009年6月26日(金)～7月28日(火)

「放浪の天才画家」と呼ばれる山下清(1922～1971)。山下は、緻密で色鮮やかな貼絵をはじめ、軽快な水彩画やペン画、版画『東海道五十三次』など、忘れられない旅の風景を表現した画家として親しまれています。しかし、じつは清の“旅景色”のほとんどは、旅先で制作されたものではありません。彼は、旅から戻ってきた後に驚異的な記憶力でイメージを再現する特殊な才能を持っていました。心に焼きついた風景を、まるで目前に見ているかのように鮮やかな作品に仕上げているのです。激動の時代のなかで、49年の人生を送った清の最期の言葉は、「今年の花火見物はどこに行こうかな」でした。彼の心の花火は、傑作『長岡の花火』に結実しています。

本展覧会では、貼絵、水彩画、ペン画、版画、陶芸などの作品群をはじめ、愛用のリュックや帯・ゆかた、愛蔵の画集なども紹介し、魅力あふれる画家、山下清の実像に迫ります。

会 場 高崎市タワー美術館 (370-0841 高崎市栄町3-23 電話 027-330-3773)

時 間 午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)

金曜日のみ午前10時～午後8時(入館は午後7時30分まで)

休 館 日 月曜日

会期中の休館日：6/29、7/6・13・21・27

観 覧 料 一般：500円(400円)、大高生：300円(250円)

- ()内は20名以上の団体割引料金
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方、および付き添いの方1名、65歳以上の方、中学生以下は無料となります

主 催 高崎市タワー美術館

後 援 朝日新聞前橋総局、産経新聞社前橋支局、上毛新聞社、東京新聞前橋支局、日本経済新聞社前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞東京本社前橋支局、群馬テレビ、エフエム群馬、ラジオ高崎

企 画 協 力 ステップ・イースト

### 関連事業

- 講演会「山下清の旅と人生」 山下清作品管理事務所・山下浩 7/12 14:00～
- ギャラリートーク「山下清 作品の魅力」 山下浩 7/12 15:30～
- 貼絵ワークショップ「思い出を貼り絵で残そう」 6/28、7/5 14:00～
- 学芸員による作品解説会 6/27、7/4、7/25 14:00～